



Cisco Unity-CM TSP Release 8.0(1b) リリースノート

Published June 20, 2005

このリリース ノートでは、Cisco Unity-CM TAPI Service Provider (TSP) Release 8.0(1b) のダウンロードとインストールの方法、新規および変更された要件とサポート、および警告について説明します。

Cisco Unity-CM TSP は、Cisco CallManager 連動と Cisco CallManager Express 連動のためだけに使用します。Cisco Unity-CM TSP バージョン 8.0(1b) は、DVD および CD に格納されている Cisco Unity バージョン 4.0(5)、および 2005 年 6 月 20 日以降にダウンロードした Cisco Unity 4.0(5) ソフトウェアとともに自動的にインストールされます。2005 年 6 月 20 日より前にダウンロードした Cisco Unity 4.0(5) の場合は、バージョン 8.0(1) の Cisco Unity-CM TSP が自動的にインストールされます。バージョン 8.0(1b) は、Cisco Software Center の Cisco Unity-CM TSP ソフトウェア ダウンロード ページから入手できます (P.4 の「Cisco Unity-CM TSP バージョン 8.0(1b) のダウンロード」を参照してください)。

表 1 に、Cisco Unity-CM TSP 8.0(1b) でサポートされている Cisco CallManager、Cisco CallManager Express、および Cisco Unity のバージョンを示します。

表 1 Cisco Unity-CM TSP 8.0(1b) でサポートされている Cisco CallManager、Cisco CallManager Express、および Cisco Unity のバージョン

電話システム	電話システムのバージョン	Cisco Unity のバージョン	Cisco Unity-CM TSP
Cisco CallManager	4.1(3)、4.1(2)、4.0(2)、4.0(1)、 3.3(4)、3.3(3)、3.3(2)、3.3(1)、 3.2(3)、3.2(2)、3.2(1)	4.0(5)、4.0(4)、4.0(3)、4.0(2)、4.0(1)、 3.1(6)、3.1(5)、3.1(4)、3.1(3)、3.1(2c)、 3.1(2b)、3.1(2)、3.1(1)、3.0(4)、3.0(3)、 3.0(2)、3.0(1)	8.0(1b)
Cisco CallManager Express	3.2、3.1、3.0(3)、3.0(2)、3.0(1)	4.0(5)	8.0(1b)



(注) Cisco Unity-CM TSP、Cisco Unity、Cisco CallManager、および Cisco CallManager Express (Cisco Unity-CM TSP バージョン 8.0(1b) 以降のリリースを含む) のサポートされる全バージョンの最新リストと、Cisco Unity および Cisco CallManager のバージョン サポート ポリシーについては、『互換性マトリクス: Cisco Unity、Cisco Unity-CM TSP、Cisco CallManager、Cisco CallManager Express』を参照してください。

Cisco CallManager Support Patch (sp) リリースは、Cisco Unity または Cisco Unity-CM TSP との互換性に影響を与える場合だけ、表 1 に記載されています。記載されていない場合、サポートパッチにはベースとなるリリースと同じ互換性があります。さらに、3.x(xa) が 3.x(xb) としてリリースされた場合のように、再リリースされたバージョンは、明記されない限り、同じ互換性があることを前提としています。

Cisco Unity サービス リリース (SR) は、Cisco CallManager または Cisco Unity-CM TSP との互換性に影響を与える場合だけ、表 1 に記載されています。記載されていない場合、サービスリリースにはベースとなるリリースと同じ互換性があります。

目次

- システム要件 (P.2)
- ソフトウェアバージョンの特定 (P.3)
- Cisco Unity-CM TSP バージョン 8.0(1b) のダウンロード (P.4)
- Cisco Unity-CM TSP のインストール (P.5)
- 新規および変更されたサポート : Release 8.0(1b) (P.7)
- 新機能と変更された機能 : Release 8.0(1b) (P.7)
- インストールとアップグレードに関する注意事項 (P.8)
- 警告 (P.8)
- トラブルシューティング (P.10)
- Cisco Unity に関するドキュメント (P.10)
- 技術情報の入手方法 (P.10)
- シスコ製品のセキュリティの概要 (P.12)
- テクニカル サポート (P.13)
- その他の資料および情報の入手方法 (P.15)

システム要件

- Cisco Unity サーバ上で動作している Cisco Unity のサポートされているバージョン。
 - Cisco CallManager と連動する場合 : Cisco Unity 3.0(1) ~ 4.0(x)
 - Cisco CallManager Express と連動する場合 : Cisco Unity 4.0(5) 以降
- Cisco Unity-CM TSP のアップグレードは、ローカル管理者権限のアカウントで行う必要があります。それ以外のアカウントの場合、アップグレード後に Cisco Unity のポートが使用できません。
- Cisco Unity システムのボイスメール ポートの変更する場合は、Cisco Unity-CM TSP をインストールする前に、Cisco CallManager のポートを調整します。該当するバージョンの『Cisco CallManager Integration Guide』で「Changing the Number of Voice Messaging Ports」の項を参照してください。『Cisco CallManager Integration Guide』は、http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/products_installation_and_configuration_guides_list.html から入手できます。
- 初めて Cisco CallManager 連動をセットアップする場合は、このリリース ノートではなく、該当するバージョンの『Cisco CallManager Integration Guide』を参照してください。『Cisco CallManager Integration Guide』は、http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/products_installation_and_configuration_guides_list.html から入手できます。

ソフトウェアバージョンの特定

この項では、次のソフトウェアで使用されるバージョンを特定する手順を説明します。

- [Cisco Unity-CM TSP \(P.3 \)](#)
- [Cisco Unity \(P.3 \)](#)

Cisco Unity-CM TSP

Cisco Unity Telephony Integration Manager を使用して、使用している **Cisco Unity-CM TSP** のバージョンを特定する

-
- ステップ 1** Cisco Unity サーバの Windows の [スタート] メニューで、[**プログラム**] > [**Cisco Unity**] > [**Manage Integrations**] をクリックします。[**UTIM**] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** 左ペインで、Cisco CallManager 連動をクリックします。
- ステップ 3** 右ペインで、[**プロパティ**] をクリックします。[**連動方式**] タブの [**TSP バージョン :**] フィールドに、Cisco Unity-CM TSP のバージョンが表示されます。
-

AvSkinny.tsp ファイルを使用して、使用している **Cisco Unity-CM TSP** のバージョンを特定する

-
- ステップ 1** WinNT\System32 ディレクトリを参照します。
- ステップ 2** **AvSkinny.tsp** ファイルを右クリックし、[**プロパティ**] をクリックします。
- ステップ 3** [**プロパティ**] ウィンドウで、[**バージョン情報**] タブをクリックします。
- ステップ 4** [**項目**] リストにある [**製品バージョン**] をクリックします。Cisco Unity-CM TSP のバージョンが [**値**] ウィンドウに表示されます。
-

Cisco Unity

Cisco Unity システム管理 を使用して、使用している **Cisco Unity** のバージョンを特定する

Cisco Unity システム管理で、[**システム**] > [**コンフィギュレーション**] > [**ソフトウェアバージョン**] ページを選択します。Cisco Unity のバージョンが [**Cisco Unity ビルドナンバー**] フィールドに表示されます。

AvCsMgr.exe ファイルを使用して、使用している Cisco Unity のバージョンを特定する(バージョン 3.0(4) 以降のみ)

-
- ステップ 1 CommServer ディレクトリを参照します。
 - ステップ 2 AvCsMgr.exe ファイルを右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
 - ステップ 3 [プロパティ] ウィンドウで、[バージョン情報] タブをクリックします。
 - ステップ 4 [項目] リストにある [製品バージョン] をクリックします。Cisco Unity のバージョンが [値] ウィンドウに表示されます。
-

Cisco Unity-CM TSP バージョン 8.0(1b) のダウンロード

次の手順は、Cisco Unity-CM TSP 8.0(1b) を Cisco Unity バージョン 4.0(4) またはそれ以前のシステムに、あるいは 2005 年 6 月 20 日より前にダウンロードしたソフトウェアを使用してインストールしたバージョン 4.0(5) システムにインストールする場合にのみ実行します (バージョン 8.0(1b) は、DVD および CD に格納されている Cisco Unity バージョン 4.0(5)、および 2005 年 6 月 20 日以降にダウンロードした Cisco Unity 4.0(5) ソフトウェアとともに自動的にインストールされます)。

Cisco Unity-CM TSP をダウンロードする

-
- ステップ 1 Cisco Unity サーバに、ダウンロード対象ファイルと解凍後のファイル用に少なくとも 6 MB の空きハードディスク領域があることを確認します。
 - ステップ 2 高速インターネット接続が装備されているコンピュータで、Cisco Unity-CM TSP ソフトウェアダウンロード ページ (<http://www.cisco.com/cgi-bin/tablebuild.pl/unity-cm-tsp>) にアクセスします。



(注) ソフトウェアダウンロード ページにアクセスするには、登録ユーザとして Cisco.com にログインする必要があります。

- ステップ 3 任意のディレクトリに CiscoUnityCMTSP8.0.1b.exe をダウンロードします。
 - ステップ 4 CiscoUnityCMTSP8.0.1b.exe ファイルをデフォルトのディレクトリまたは任意のディレクトリに解凍します。
 - ステップ 5 ハードディスク領域を開放するため、CiscoUnityCMTSP8.0.1b.exe ファイルを削除します。
-

Cisco Unity-CM TSP のインストール

この項では、Cisco Unity-CM TSP のインストール手順を Cisco Unity のバージョン別に説明します。

- [Cisco Unity 4.0\(x\) システムの場合 \(P.5 \)](#)
- [Cisco Unity 3.1\(x\) または 3.0\(x\) システムの場合 \(P.5 \)](#)

Cisco Unity 4.0(x) システムの場合

Cisco Unity-CM TSP 8.0(1b) を Cisco Unity バージョン 4.0(x) システムにインストールする場合のみ、次の手順を実行します (バージョン 8.0(1b) は、DVD および CD に格納されている Cisco Unity バージョン 4.0(5)、および 2005 年 6 月 20 日以降にダウンロードした Cisco Unity 4.0(5) ソフトウェアとともに自動的にインストールされます)。

注 : Cisco Unity システムのボイスメール ポートの数を変更する場合は、Cisco Unity-CM TSP のインストール前に Cisco Unity への接続に使用する Cisco CallManager の各ポートに対して、ボイスメール ポートを追加する必要があります。該当するバージョンの『Cisco CallManager Integration Guide』で「Changing the Number of Voice Messaging Ports」の項を参照してください。

『Cisco CallManager Integration Guide』は、

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/products_installation_and_configuration_guides_list.html から入手できます。

以前のボイスメール ポートは保持できます。また、Cisco Unity-CM TSP の設定は自動的に保持されます。

Cisco Unity-CM TSP をインストールする (Cisco Unity 4.0(x) システム向け)

-
- ステップ 1 Cisco Unity を停止します (システム トレイで [Cisco Unity] アイコンを右クリックし、[Unity 停止] をクリックします)。
 - ステップ 2 P.4 の「Cisco Unity-CM TSP バージョン 8.0(1b) のダウンロード」で Cisco Unity-CM TSP ファイルを解凍したディレクトリを参照し、SkinnySetup.exe をダブルクリックします。
 - ステップ 3 画面の指示に従います。
 - ステップ 4 Cisco Unity サーバを再起動します。
-

Cisco Unity 3.1(x) または 3.0(x) システムの場合

Cisco Unity-CM TSP 8.0(1b) を Cisco Unity バージョン 3.1(x) または 3.0(x) システムにインストールする場合のみ、次の手順を実行します

注 : Cisco Unity システムのボイスメール ポートの数を変更する場合は、Cisco Unity-CM TSP のインストール前に Cisco Unity への接続に使用する Cisco CallManager の各ポートに対して、ボイスメール ポートを追加する必要があります。該当するバージョンの『Cisco CallManager Integration Guide』で「Changing the Number of Voice Messaging Ports」の項を参照してください。

『Cisco CallManager Integration Guide』は、

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/products_installation_and_configuration_guides_list.html から入手できます。

以前のボイスメール ポートは保持できます。また、Cisco Unity-CM TSP の設定は自動的に保持されます。

Cisco Unity-CM TSP をインストールする (Cisco Unity 3.1(x) または 3.0(x) システム向け)

ステップ 1 Cisco Unity を停止します (システム トレイで [Cisco Unity] アイコンを右クリックし、[Unity 停止] をクリックします)。

ステップ 2 P.4 の「Cisco Unity-CM TSP バージョン 8.0(1b) のダウンロード」で Cisco Unity-CM TSP ファイルを解凍したディレクトリを参照し、SkinnySetup.exe をダブルクリックします。

ステップ 3 画面の指示に従います。

ステップ 4 [Cisco Unity-CM TSP] ダイアログボックスの [Cisco CallManager] リストで、Cisco Unity が接続している Cisco CallManager サーバまたは Cisco CallManager Express サーバをクリックします。

[Cisco CallManager] リストに何も表示されていない場合は、[Add] をクリックし、Cisco Unity が接続している Cisco CallManager サーバの IP アドレスを入力して、[OK] をクリックします。

ステップ 5 [Cisco Unity-CM TSP Settings] ダイアログボックスで、次の 3 つのフィールドの情報を確認します。

- Primary CallManager IP Address
- Number of Voice Ports
- Device Name Prefix (このプレフィックスは、ボイスメール ポートのプレフィックスと一致している必要があります。デバイス名のプレフィックスは大文字 / 小文字を区別します。)

ステップ 6 [MessageWaitingOffDN] フィールドおよび [MessageWaitingOnDN] フィールドのダイヤル番号が、該当する Cisco CallManager Administration のページ上の Cisco CallManager 設定と一致していることを確認します。

Cisco CallManager バージョン 3.2(1) 以降	設定は、Cisco CallManager Administration の [Features] > [Voice Mail] > [Message Waiting] ページにあります。
Cisco CallManager バージョン 3.1(4) 以前	設定は、Cisco CallManager Administration の [Service] > [Service Parameters] ページにあります。

ダイヤル番号が [Cisco Unity-CM TSP Settings] ダイアログボックスの [MessageWaiting] フィールドにない場合は入力します。

ステップ 7 [Cisco CallManager Device List] に Cisco Unity ポートの正しい番号が表示され、ポート名がボイスメール ポートの名前と一致していることを確認します。

ステップ 8 [OK] をクリックします。

ステップ 9 [Cisco Unity-CM TSP] ダイアログボックスで、[Test] をクリックします。

ステップ 10 [Test Configuration and Connection] ダイアログボックスで、[OK] をクリックします。

ステップ 11 設定が適切である場合は、[Test Succeeded] ダイアログボックスが表示されます。[OK] をクリックして、[ステップ 13](#) に進みます。

設定時に不適切な情報が入力された場合は、[Error] ダイアログボックスが表示されます。エラーの原因としては、次が考えられます。

- 設定時に Cisco CallManager サーバの間違った IP アドレスを入力した。
- 設定時に間違ったデバイス名プレフィックスを入力した。

ステップ 12 [TSP] ダイアログボックスでエラーを修正します。

Windows 2000 の場合は、[スタート] メニューから [設定] > [コントロールパネル] > [電話とモデムのオプション] > [詳細] > [Cisco Unity-CM TSP] > [構成] をクリックします。

または

Windows NT の場合は、[スタート] メニューから [設定] > [コントロールパネル] > [テレフォニー] > [テレフォニー ドライバ] > [Cisco Unity-CM TSP] > [構成] をクリックします。

ステップ 13 Cisco Unity サーバを再起動します。

新規および変更されたサポート : Release 8.0(1b)

この項では、Cisco Unity-CM TSP Release 8.0(1b) の新規および変更されたサポートだけを説明します。それより前のバージョンの Cisco Unity-CM TSP の新機能と変更された機能については、該当するリリース ノートを参照してください。Cisco Unity-CM TSP の全バージョンのリリース ノートは、Cisco.com(http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/prod_release_notes_list.html)から入手できます。

バージョン 8.0(1b) を強く推奨

Cisco Unity-CM TSP 8.0(1) を使用する特定の環境では、着信転送およびボイスメール ポートに望ましくない影響を及ぼす場合があるため、Cisco Unity-CM TSP 8.0(1b) にアップグレードしてこの悪影響を避けることを強くお勧めします。

新機能と変更された機能 : Release 8.0(1b)

Cisco Unity-CM TSP Release 8.0(1b) には新機能はありません。このリリースで行われたソフトウェアの修正については、[P.9](#) の「[解決済みの警告 : Release 8.0\(1b\)](#)」を参照してください。

それより前のバージョンの Cisco Unity-CM TSP の新機能と変更された機能については、該当するリリース ノートを参照してください。Cisco Unity-CM TSP の全バージョンのリリース ノートは、Cisco.com(http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/prod_release_notes_list.html)から入手できます。

インストールとアップグレードに関する注意事項

Cisco Unity-CM TSP のアンインストール

バージョン 8.0(1b) をインストールする前に、以前のバージョンの Cisco Unity-CM TSP をアンインストールする必要はありません。インストール処理により、古い Cisco Unity-CM TSP は自動的に削除されます。

警告

この項では、重大度 1 と 2 の警告、および重大度 3 の一部の警告について説明します。

Cisco.com のアカウントを持っている場合は、Bug Toolkit を使用して、あらゆるリリースにおけるあらゆる重大度の警告に加え、この項の警告についての詳細情報を検索することができます。Bug Toolkit は、http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/launch_bugtool.pl から入手できます。

この項では、Cisco Unity-CM TSP Release 8.0(1b) の警告についてだけ説明します。Cisco Unity-CM TSP の以前のバージョンの警告については、該当するリリース ノートを参照してください。Cisco Unity-CM TSP の全バージョンのリリース ノートは、Cisco.com (http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/prod_release_notes_list.html) から入手できます。

公開されている警告 : Release 8.0(1b)

表 2 Cisco Unity-CM TSP Release 8.0(1b) の公開されている警告

警告番号	重大度	コンポーネント	説明
CSCsa79169	2	telephony	宛先 DN が帯域幅の外にあり、その DN でコール ウェイティングが有効になっている場合に、Cisco Unity 4.x からの転送が中止されます。 この問題は、Cisco Unity 4.x および Cisco CallManager 4.x で、ロケーションとコール ウェイティングが有効な場合に発生します。 対処法 Cisco Unity が通話を転送する必要がある内線番号のコール ウェイティングを無効にします。

表2 Cisco Unity-CM TSP Release 8.0(1b) の公開されている警告 (続き)

警告番号	重大度	コンポーネント	説明
CSCsa67988	3	telephony	<p>Cisco Unity-CM TSP がプライマリ、セカンダリ、および三次の Cisco CallManager サーバで適切に構成されているにもかかわらず、プライマリ Cisco CallManager サーバ上の Cisco CallManager サービスが停止したときに Cisco Unity ボイス メール ポートがセカンダリまたは三次の Cisco CallManager サーバにフェールオーバーされません。Cisco CallManager Administration Web インターフェイスには、Cisco Unity ボイス メール ポートが「Unregistered」または「Not Found」の状態のままであると表示されます。</p> <p>この問題は、現行の Cisco CallManager、Cisco Unity、および Cisco Unity-CM TSP のいずれのバージョン (Cisco CallManager 4.0(2a) SR1、Cisco Unity 4.0(4) SR1、Cisco Unity-CM TSP 7.0(4b) またはそれ以前の任意のバージョンを含む) でも発生する可能性があります。</p> <p>この問題は、プライマリ Cisco CallManager サーバ上の Cisco CallManager サービスが停止しても、サーバが TCP ポート 2000 をリッスンし続ける場合に発生します。このシナリオは、CSCsa67507 の問題または他の同様のシナリオが原因で発生します。</p> <p>対処法</p> <p>次の 2 つの対処法があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • プライマリ Cisco CallManager サーバを再起動して、TCP ポート 2000 で LAST_ACK 状態のままであるすべての TCP セッションをクリアします。 • http://www.sysinternals.com/ntw2k/source/tcpview.shtml から TCP View ユーティリティをダウンロードし、プライマリ Cisco CallManager サーバ上でこのユーティリティを実行します。このユーティリティは、TCP ポート 2000 上で LAST_ACK 状態でハングしているすべての TCP セッションを手動で閉じる場合に使用します。ハングしている TCP セッションを閉じると、Cisco CallManager サーバは TCP ポート 2000 へのリスニングを停止し、Cisco Unity は、セカンダリ Cisco CallManager サーバにフェールオーバーされます。対処法が完了したら、Cisco CallManager サーバから TCP View ユーティリティを削除します。

解決済みの警告 : Release 8.0(1b)

表3 Cisco Unity-CM TSP Release 8.0(1b) の解決済みの警告

警告番号	重大度	コンポーネント	説明
CSCsb07764	2	telephony	古いコール参照値を使用すると、Cisco Unity ポートが応答に失敗します。
CSCsb08723	2	telephony	コール参照値が古いため、Cisco Unity-CM TSP が StationKeypadButtonMessage を無視します。
CSCsb11926	2	telephony	VMSec : Cisco Unity のインストール ディレクトリにスペースが含まれていると、TFTP ダウンロードが失敗します。
CSCsa60275	3	telephony	自動転送が設定されていない通話中の電話へのリリース転送は、Cisco CallManager では処理されません。
CSCsa96647	3	telephony	VMSec : プライマリ サーバへのフェールバックが発生しても、一部のポートが登録されません。

トラブルシューティング

Cisco Unity-CM TSP および電話システム連動のトラブルシューティングについては、該当するバージョンの『Cisco Unity トラブルシューティングガイド』を参照してください。このドキュメントは http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/prod_troubleshooting_guides_list.html から入手できます。

Cisco Unity に関するドキュメント

Cisco.com 上の Cisco Unity のドキュメントに関する説明と URL については、『Cisco Unity Documentation Guide』を参照してください。このドキュメントは Cisco Unity に同梱されており、Cisco.com (http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_unity/about/aboutdoc.htm) でも入手できます。

技術情報の入手方法

シスコの製品マニュアルやその他の資料は、Cisco.com でご利用いただけます。また、テクニカルサポートおよびその他のリソースを、さまざまな方法で入手することができます。ここでは、シスコ製品に関する技術情報を入手する方法について説明します。

Cisco.com

マニュアルの最新版は、次の URL で参照できます。

<http://www.cisco.com/techsupport>

シスコの Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com>

各国のシスコ Web サイトには、次の URL からアクセスできます。

http://www.cisco.com/public/countries_languages.shtml

シスコ製品の最新資料の日本語版は、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/jp>

Product Documentation DVD (英語版)

シスコ製品のマニュアルおよびその他の資料は、製品に付属の Product Documentation DVD パッケージでご利用いただけます。Product Documentation DVD は定期的に更新されるので、印刷資料よりも新しい情報が得られます。

Product Documentation DVD は、技術情報を包含する製品マニュアルをポータブルなメディアに格納した、包括的なライブラリです。この DVD を使用することにより、シスコ製の各ハードウェアやソフトウェアのインストール、コンフィギュレーション、およびコマンドに関する複数のバージョンのマニュアルにアクセスし、技術情報を HTML で参照できます。また、この DVD を使用すると、シスコの Web サイトで参照できるのと同じマニュアルに、インターネットに接続せずにアクセスできます。一部の製品については、PDF 版のマニュアルもご利用いただけます。

Product Documentation DVD は、1 回単位で入手することも、または定期購読することもできます。Cisco.com 登録ユーザ (Cisco Direct Customers) の場合、Ordering Tool または Cisco Marketplace から Product Documentation DVD (Product Number DOC-DOCDVD=) を発注できます。

Cisco Ordering Tool :

<http://www.cisco.com/en/US/partner/ordering/>

Cisco Marketplace :

<http://www.cisco.com/go/marketplace/>

マニュアルの発注方法 (英語版)

2005 年 6 月 30 日以降、Cisco.com 登録ユーザの場合、Cisco Marketplace の Product Documentation Store からシスコ製品の英文マニュアルを発注できるようになっています。次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/go/marketplace/>

Ordering Tool を使用したマニュアル発注も引き続きご利用いただけます。

- Cisco.com (Cisco Direct Customers) に登録されている場合、Ordering Tool から英文マニュアルを発注できます。次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/en/US/partner/ordering/>

- Ordering Tool を使用した英文マニュアル発注の手順については、次の URL を参照してください。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/es_inpc/pdi.htm

- Cisco.com に登録されていない場合、製品を購入された代理店へお問い合わせください。

シスコシステムズマニュアルセンター

シスコシステムズマニュアルセンターでは、シスコ製品の日本語マニュアルの最新版を PDF 形式で公開しています。また、日本語マニュアル、および日本語マニュアル CD-ROM もオンラインで発注可能です。ご希望の方は、次の URL にアクセスしてください。

<http://www2.hipri.com/cisco/>

また、シスコシステムズマニュアルセンターでは、日本語マニュアル中の誤記、誤植に関するコメントをお受けしています。次の URL の「製品マニュアル内容不良報告」をクリックすると、コメント入力画面が表示されます。

<http://www2.hipri.com/cisco/>

なお、技術内容に関するお問い合わせは、この Web サイトではお受けできませんので、製品を購入された各代理店へお問い合わせください。

シスコ製品のセキュリティの概要

シスコでは、オンラインの Security Vulnerability Policy ポータル (英文のみ) を無料で提供していません。URL は次のとおりです。

http://www.cisco.com/en/US/products/products_security_vulnerability_policy.html

このサイトは、次の目的に利用できます。

- シスコ製品のセキュリティ脆弱性を報告する
- シスコ製品に伴うセキュリティ事象についてサポートを受ける
- シスコからセキュリティ情報を受け取るための登録をする

シスコ製品に関するセキュリティ勧告および注意事項の最新のリストには、次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/go/psirt>

勧告および注意事項がアップデートされた時点でリアルタイムに確認する場合は、次の URL から Product Security Incident Response Team Really Simple Syndication (PSIRT RSS) フィードにアクセスしてください。

http://www.cisco.com/en/US/products/products_psirt_rss_feed.html

シスコ製品のセキュリティ問題の報告

シスコでは、セキュアな製品を提供すべく全力を尽くしています。製品のリリース前には内部でテストを行い、すべての脆弱性を早急に修正するよう努力しています。万一、シスコ製品に脆弱性が見つかった場合は、PSIRT にご連絡ください。

- 緊急の場合 : security-alert@cisco.com (英語のみ)
緊急とは、システムがアクティブな攻撃を受けている場合、または至急の対応を要する重大なセキュリティ上の脆弱性が報告されている場合を指します。これに該当しない場合はすべて、緊急でないと思なされます。
- 緊急でない場合 : psirt@cisco.com (英語のみ)

緊急の場合は、電話で PSIRT に連絡することもできます。

- 1 877 228-7302 (英語のみ)
- 1 408 525-6532 (英語のみ)



ヒント

シスコに機密情報をお送りいただく際には、PGP (Pretty Good Privacy) または互換製品を使用して、暗号化することをお勧めします。PSIRT は、PGP バージョン 2.x から 8.x と互換性のある暗号化情報に対応しています。

無効になった、または有効期限が切れた暗号鍵は、絶対に使用しないでください。PSIRT に連絡する際に使用する正しい公開鍵には、Security Vulnerability Policy ページの Contact Summary セクションからリンクできます。次の URL にアクセスしてください。

http://www.cisco.com/en/US/products/products_security_vulnerability_policy.html

このページ上のリンクからは、現在使用されている最新の PGP 鍵の ID にアクセスできます。

テクニカル サポート

Cisco Technical Support では、24 時間テクニカル サポートを提供しています。Cisco.com の Cisco Technical Support & Documentation Web サイトでは、多数のサポート リソースをオンラインで提供しています。また、シスコと正式なサービス契約を交わしているお客様には、Cisco Technical Assistance Center (TAC) のエンジニアが電話でのサポートにも対応します。シスコと正式なサービス契約を交わしていない場合は、代理店にお問い合わせください。

Cisco Technical Support & Documentation Web サイト

Cisco Technical Support & Documentation Web サイトでは、シスコ製品やシスコの技術に関するトラブルシューティングにお役立ていただけるように、オンラインでマニュアルやツールを提供しています。この Web サイトは、24 時間、いつでも利用可能です。URL は次のとおりです。

<http://www.cisco.com/techsupport>

Cisco Technical Support & Documentation Web サイトのツールにアクセスするには、Cisco.com のユーザ ID とパスワードが必要です。サービス契約が有効で、ユーザ ID またはパスワードを取得していない場合は、次の URL にアクセスして登録手続きを行ってください。

<http://tools.cisco.com/RPF/register/register.do>



(注)

Web または電話でサービス リクエストを発行する前に、Cisco Product Identification (CPI) ツールを使用して製品のシリアル番号を確認してください。CPI ツールには、Cisco Technical Support & Documentation Web サイトから、Documentation & Tools の下の **Tools & Resources** リンクをクリックするとアクセスできます。アルファベット順の索引ドロップダウン リストから **Cisco Product Identification Tool** を選択するか、Alerts & RMAs の下の **Cisco Product Identification Tool** リンクをクリックします。CPI ツールには、3 つの検索オプションがあります。製品 ID またはモデル名による検索、ツリー表示による検索、**show** コマンド出力のコピー アンド ペーストによる特定製品の検索です。検索結果では、製品が図示され、シリアル番号ラベルの位置が強調表示されます。ご使用の製品でシリアル番号ラベルを確認し、その情報を記録してからサービス コールをかけてください。

Japan TAC Web サイト

Japan TAC Web サイトでは、利用頻度の高い TAC Web サイト (<http://www.cisco.com/tac>) のドキュメントを日本語で提供しています。Japan TAC Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/jp/go/tac>

サポート契約を結んでいない方は、「ゲスト」としてご登録いただくだけで、Japan TAC Web サイトのドキュメントにアクセスできます。Japan TAC Web サイトにアクセスするには、Cisco.com のログイン ID とパスワードが必要です。ログイン ID とパスワードを取得していない場合は、次の URL にアクセスして登録手続きを行ってください。

<http://www.cisco.com/jp/register>

サービス リクエストの発行

オンラインの TAC Service Request Tool を使用すると、S3 と S4 のサービス リクエストを短時間でオープンできます (S3: ネットワークに軽微な障害が発生した、S4: 製品情報が必要である)。状況を入力すると、その状況を解決するための推奨手段が検索されます。これらの推奨手段で問題を解決できない場合は、シスコのエンジニアが対応します。TAC Service Request Tool には、次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/techsupport/servicerequest>

S1 または S2 のサービス リクエストの場合、またはインターネットにアクセスできない場合は、Cisco TAC に電話でお問い合わせください (S1: ネットワークがダウンした、S2: ネットワークの機能が著しく低下した)。S1 および S2 のサービス リクエストには、シスコのエンジニアがすぐに割り当てられ、業務を円滑に継続できるようサポートします。

Cisco TAC の連絡先については、次の URL を参照してください。

<http://www.cisco.com/techsupport/contacts>

サービス リクエストのシビラティの定義

シスコでは、報告されるサービス リクエストを標準化するために、シビラティを定義しています。

シビラティ 1 (S1): ネットワークが「ダウン」した状態か、業務に致命的な損害が発生した場合。お客様およびシスコが、24 時間体制でこの問題を解決する必要があると判断した場合。

シビラティ 2 (S2): 既存のネットワーク動作が著しく低下したか、シスコ製品が十分に機能しないため、業務に重大な影響を及ぼした場合。お客様およびシスコが、通常の業務中の全時間を費やして、この問題を解決する必要があると判断した場合。

シビラティ 3 (S3): ネットワークの動作パフォーマンスが低下しているが、ほとんどの業務運用は継続できる場合。お客様およびシスコが、業務時間中にサービスを十分なレベルにまで復旧させる必要があると判断した場合。

シビラティ 4 (S4): シスコ製品の機能、インストラクション、コンフィギュレーションについて、情報または支援が必要な場合。業務の運用には、ほとんど影響がありません。

その他の資料および情報の入手方法

シスコの製品、テクノロジー、およびネットワーク ソリューションに関する情報について、さまざまな資料をオンラインおよび印刷物で入手できます。

- Cisco Marketplace では、シスコの書籍やリファレンス ガイド、マニュアル、ロゴ製品を数多く提供しています。購入を希望される場合は、次の URL にアクセスしてください。
<http://www.cisco.com/go/marketplace/>
- Cisco Press では、ネットワーキング全般、トレーニング、および認定資格に関する書籍を広範囲にわたって出版しています。これらの出版物は、初級者にも上級者にも役立ちます。Cisco Press の最新の出版物やその他の情報を調べるには、次の URL から Cisco Press にアクセスしてください。
<http://www.ciscopress.com>
- 『Packet』はシスコシステムズが発行する技術者向けの雑誌で、インターネットやネットワークへの投資を最大限に活用するために役立ちます。本誌は季刊誌として発行され、業界の最先端トレンド、最新テクノロジー、シスコ製品やソリューション情報が記載されています。また、ネットワーク構成およびトラブルシューティングに関するヒント、コンフィギュレーション例、カスタマー ケース スタディ、認定情報とトレーニング情報、および充実したオンラインサービスへのリンクの内容が含まれます。『Packet』には、次の URL からアクセスしてください。
<http://www.cisco.com/packet>
日本語版『Packet』は、米国版『Packet』と日本版のオリジナル記事で構成されています。日本語版『Packet』には、次の URL からアクセスしてください。
<http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/news/packet/>
- 『iQ Magazine』はシスコシステムズの季刊誌で、成長企業が収益を上げ、業務を効率化し、サービスを拡大するためには技術をどのように利用したらよいかを学べるように構成されています。本誌では、事例とビジネス戦略を挙げて、成長企業が直面する問題とそれを解決するための技術を紹介し、読者が技術への投資に関して適切な決定を下せるよう配慮しています。『iQ Magazine』には、次の URL からアクセスしてください。
<http://www.cisco.com/go/iqmagazine>
デジタル版には、次の URL からアクセスできます。
<http://ciscoiq.texterity.com/ciscoiq/sample/>
- 『Internet Protocol Journal』は、インターネットおよびイントラネットの設計、開発、運用を担当するエンジニア向けに、シスコが発行する季刊誌です。『Internet Protocol Journal』には、次の URL からアクセスしてください。
<http://www.cisco.com/ipj>
- シスコシステムズが提供するネットワーキング製品、および各種のカスタマー サポート サービスは、次の URL から入手できます。
<http://www.cisco.com/en/US/products/index.html>
- Networking Professionals Connection は対話形式の Web サイトです。このサイトでは、ネットワーキング製品やテクノロジーに関する質問、提案、および情報をネットワーキング担当者がシスコの専門家や他のネットワーキング担当者とは共有できます。次の URL にアクセスしてディスカッションに参加してください。
<http://www.cisco.com/discuss/networking>
- シスコは、国際的なレベルのネットワーク関連トレーニングを実施しています。最新情報については、次の URL からアクセスしてください。
<http://www.cisco.com/en/US/learning/index.html>

CCIP、CCSP、Cisco Arrow のロゴ、Cisco Powered Network のマーク、Cisco Unity、Follow Me Browsing、FormShare、および StackWise は、Cisco Systems, Inc. の商標です。Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn、および iQuick Study は、Cisco Systems, Inc. のサービスマークです。Aironet、ASIST、BPX、Catalyst、CCDA、CCDP、CCIE、CCNA、CCNP、Cisco、Cisco Certified Internetwork Expert のロゴ、Cisco IOS、Cisco IOS のロゴ、Cisco Press、Cisco Systems、Cisco Systems Capital、Cisco Systems のロゴ、Empowering the Internet Generation、Enterprise/Solver、EtherChannel、EtherFast、EtherSwitch、Fast Step、GigaDrive、GigaStack、HomeLink、Internet Quotient、IOS、IP/TV、iQ Expertise、iQ のロゴ、iQ Net Readiness Scorecard、LightStream、Linksys、MeetingPlace、MGX、Networkers のロゴ、Networking Academy、Network Registrar、Packet、PIX、Post-Routing、Pre-Routing、ProConnect、RateMUX、Registrar、ScriptShare、SlideCast、SMARTnet、StrataView Plus、SwitchProbe、TeleRouter、The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient、TransPath、および VCO は、米国および一部の国における Cisco Systems, Inc. とその関連会社の登録商標です。

このマニュアルまたは Web サイトで言及されているその他の商標はすべて、それぞれの所有者のもです。「パートナー」という語の使用は、シスコと他社の提携関係を意味するものではありません。(0403R)

Copyright © 2005 Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。

シスコシステムズでは以下のURLで最新の日本語マニュアルを公開しております。
本書とあわせてご利用ください。

Cisco.com 日本語サイト
http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual_j/

日本語マニュアルの購入を希望される方は、以下のURLからお申し込みいただけます。

シスコシステムズマニュアルセンター
<http://www2.hipri.com/cisco/>

上記の両サイトで、日本語マニュアルの記述内容に関するご意見もお受けいたしますので、
どうぞご利用ください。

なお、技術内容に関するご質問は、製品を購入された各代理店へお問い合わせください。



シスコシステムズ株式会社

URL:<http://www.cisco.com/jp/>

問合せ URL:<http://www.cisco.com/jp/service/contactcenter/>

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-14-27 国際新赤坂ビル東館

TEL.03-5549-6500 FAX.03-5549-6501